



1月の行事予定

日	曜	行事・活動等	学
1	日	年末年始休業日	
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		
8	日		
9	月	楽成人の日	
10	火	始業式	
11	水	全校書初め会	
12	木	教育相談日	○
13	金	読み聞かせ 俳句学習1年生	
14	土		
15	日		
16	月		
17	火		○
18	水	委員会	
19	木	教育相談日 命の授業4年	○
20	金		
21	土		
22	日		
23	月		
24	火	全校縄跳び	○
25	水		
26	木	教育相談日 なかよし班縄跳び	○
27	金	児童朝会	
28	土		
29	日		
30	月		
31	火	全校縄跳び	○

※学は、3年生6時間授業日・放課後学びの部屋開設予定日です。

2月の主な予定

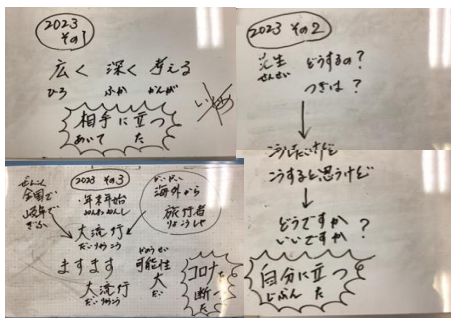
- 4日(土) 土曜日の教育活動 下校11:15
 - 8日(水) 新一年生入学説明会
 - 17日(金) いじめアンケート配付 20日回収
 - 22日(水) 6年生ありがとうの会
 - 24日(金) 授業参観 学級懇談会 予定
 - 27日(月) 通学班会
- ※卒業式は3月23日(木)、修了式は24日(金)に行う予定です。

新学期がスタートしました。初日から2学期末と変わらない活動ができる子どもたちの姿から、多くの子どもたちが気持ちを新たに、よいスタートを切れたと感じています。いよいよ締めくくりとなる3学期です。一人一人の児童が、今の学年において「このことは自分でできるようになった」という自覚をもち、「自分としてこの点で、このように成長した」と自信をもって語れるよう支援をしていきたいと思ひます。ご家庭のご支援・ご協力をお願いいたします。また地域の皆様にもご支援をお願いいたします。

3つの立つ(断つ)相手に立つ・自分に立つ・コロナを断つ

始業式で、「3つの立つ(断つ)」が取り上げられました。共に頑張る仲間の思いや願いに立ち、互いによりよいものを目指す相手に立つ。自分でできることを増やし、自信につなげる自分に立つ。感染が拡大中の新型コロナウイルス感染症への対応をさらに徹底して、学校生活を自分たちで守り創るコロナを断つ！ についての話です。

相手に立つ…相手の思いや気持ちを広く、深く考えることができる自分
自分に立つ…自分はこうしたいけれど、どうですかと言える自分
コロナを断つ…大流行を防ぐ、安全で安心できる学校環境を創る自分
進級や進学に向けた準備期間でもある3学期。1、2学期で、友だちと一緒に活動して高めてきた自分に大いに自信をもち、さらに飛躍を目指そうとする確かで意欲ある自分づくりに、どの子どもも頑張ってもらいたいと思ひます。



2023その1は、いじめ0をめざすことを願って話しました。2学期までのいじめに係る取組で様々な活動を行うものの、普段の生活で強い口調になり、相手を責めたり、軽んじたりするような感じになる姿も見られます。それを少しでも改善するために改めて「相手の思いを広く、深く考える」ことに取り組んでいく3学期にしていきたいと思います。意識せずに相手意識に立つ！が理想です。

新春の決意を込めた入魂の一筆？

11日(水)は全校で書初め会をしました。新しい年を迎えたことを一つの節目として自分の決意や自分への期待を自覚するとても大切な場として書初め会はよい行事だと思ひます。一人一人が何かしらの思いを込めて書いたことと思ひます。

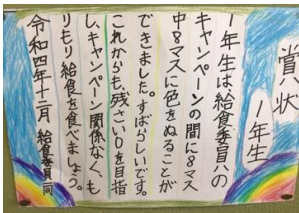
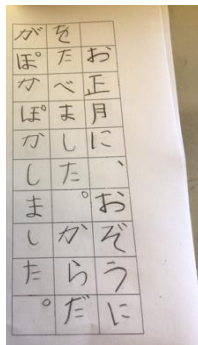
1年生は硬筆で「お正月」を取り入れた文章を、2年生も硬筆で「初日の出」を取り入れた文章を書きました。3年生は「友だち」、4年生は「美しい空」、5年生は「新しい風」、6年生は「将来の夢」を毛筆で書きました。

子どもたちにインタビューしてみました。

「どんな気持ちを込めて書きましたか？」

- ・新しい年をがんばる！という気持ちで力を入れて書いた。
- ・特に何も考えなかったけれど、「今年をしっかりと終わろう」という気持ちで書いた。
- ・新しい学年に向けて、自分の夢をしっかりと持ってがんばろうと思ひながら書いた。

進級や進学に向けて取り組むことは、今を大切に「自分で」「自分から」活動し、「自分ならではの」を創り出していくことでもあります。応援していきます！



教室に昨年の12月に開催されたキャンペーン活動の賞状が掲示されています。写真は、給食委員会の残菜を減らすキャンペーン活動に対する「委員会からの賞状」です。こうした活動(評価)が、どの委員会でも行われるようになっていることは素晴らしいことだと思ひます。特に素晴らしいと思ひる点は、

- ① キャンペーン活動をやり流しにしていないこと(評価の見届けまでしていること)
- ② 自分たちの行った(企画・実行した)活動を、自分たちの手(目)で評価していること

学校において子どもたちが評価をする時に、「評価を受ける側で終わってしまう」「曖昧な評価で終わらせてしまう」という場合が見られます。計画し、実行したことを確実に評価し、次につなげるという姿勢が高まっていることに頼もしさを感じています。今年も子どもたちの自主的な活動に大いに期待ができそうです。